

松山市特別職非常勤嘱託員（松山市地域おこし協力隊）採用試験実施要領

平成29年11月16日

松山市の忽那諸島では、全国の離島と同様に、人口流出や少子高齢化が年々進行し、基幹産業である農業の衰退、地域行事や伝統文化の担い手不足など様々な問題が生じています。そこで、こうした様々な問題に向き合いながら、新たな視点により地域の魅力を引き出し、地域の方と一緒に活性化を目指す「地域おこし協力隊」を募集します。

1 試験区分、採用予定人数、勤務場所

試験区分	採用予定人数	勤務場所
松山市地域おこし協力隊 (里島地域おこし協力隊)	1人程度	主に松山市忽那諸島

(注) 採用予定人数は変更になる場合があります。

2 地域の概要

忽那諸島（人口5,056人：平成27年度国勢調査）

松山市の忽那諸島は、瀬戸内海国立公園の西部、松山港沖の東西約20km、南北約28kmにわたって広がる、9つの有人島と多数の無人島からなります。

島の主産業は第一次産業で、瀬戸内海特有の温暖で多照寡雨の気候に適した柑橘栽培や漁業が営まれています。特にまつやま農林水産物ブランド認定品である、「紅まどんな」、「せとか」、「カラマンダリン」などの柑橘は、都市部の青果市場でも高値で取引されています。

夏にはマリンスポーツを楽しむことができ、忽那諸島最大の中島では、毎年夏にトライアスロン中島大会が開催されます。島民が総出で運営や応援を行うほか、民泊で親交を深めることから、非常に人気のある大会になっており、国内外から400名を超える参加者が訪れます。

また、松山市の施策として移住・定住の促進に力を入れており、平成29年4月には、本土から最もアクセスのよい興居島に、農業体験をしながらお試し移住が可能な体験滞在型交流施設「ハイムインゼルごごしま」がオープンしています。

3 活動の概要

地域が抱える課題を個性や魅力に変え、SNS等で広く情報を発信していただくほか、地域の活性化につながる事業を地域住民と協働して行っていただきます。加えて、次に掲げる分野の中から、「自分ならできること」及び「自分がやってみたいこと」について応募時に提案していただき（応募用紙に記載、複数選択可）、それを精査・調整した上で、ミッションとして取り組んでいただきます。

(1) 農林水産業支援部門

- ア 農林水産業への従事
- イ 鳥獣被害対策
- ウ 耕作放棄地の解消・活用
- エ 農業後継者問題の解消
- オ 地域農産品の加工・PR など

(2) まちづくり支援部門

- ア 観光・ツーリズム
- イ 高齢者の生活支援
- ウ 地域行事支援、イベント開催
- エ 伝統文化・芸能・祭事の保存・復活 など

- (3) 移住支援部門
 - ア 移住対策、移住希望者支援
 - イ 空き家、空き店舗などの情報収集、発信及び活用 など
- (4) その他
 - ア 清掃活動
 - イ 生涯学習分野での活動 など

4 応募資格

次の(1)から(7)までの要件を全て満たす者

- (1) 現に3大都市圏をはじめとする都市地域又は条件不利区域外を除く一部条件不利地域に住所を有し、松山市地域おこし協力隊として採用された後、活動地域に生活の拠点を移し、松山市に住民票を異動できる者
 ※地域要件については、総務省のホームページでご確認いただくか、松山市坂の上の雲まちづくりチームまでお問合せください。総務省 HP (http://www.soumu.go.jp/main_content/000483768.pdf)
- (2) 地域住民とコミュニケーションをとり、地域の活性化につながる事業に積極的に取り組むことができる者
- (3) 松山市地域おこし協力隊の任用期間終了後、松山市に定住する意欲がある者
- (4) 土曜日、日曜日及び祝日の行事参加や夜間の会議など、不規則な勤務に対応できる者
- (5) 普通自動車運転免許を有している者
- (6) パソコン（ワード、エクセル等）、インターネット（SNSによる情報発信等）の基本的な操作ができる者
- (7) 次のアからオに該当しない者（地方公務員法第16条の欠格条項）
 - ア 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
 - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ウ 松山市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - エ 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、地方公務員法第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者
 - オ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

5 試験の科目、日時及び合格発表

区分	科目	日時	合格発表
第1次試験	書類選考		平成29年12月下旬（予定）に応募者全員に文書で通知します。
第2次試験	個別面接等 （活動地域の視察や地域住民との交流会及び個別面接）	平成30年2月10日（土） 及び2月11日（日） （1泊2日）	第2次試験からおおむね2週間以内に受験者全員に文書で通知します。

(注) 第2次試験の際に、次に掲げる書類を提出してください。

- (1) 住民票抄本（世帯主名、続柄、本籍地及び筆頭者を省略したものでも可）
- (2) 運転免許証のコピー（裏面に記載がある場合、裏面のコピーも必要）

6 受付期間

受付期間は、平成29年11月16日（木）から平成29年12月20日（水）までです。

（祝日を除く月曜日から金曜日までの8時30分から17時15分まで）

郵送の場合は、平成29年12月20日（水）までの消印のあるものに限り受け付けます。

7 受験手続

松山市地域おこし協力隊応募用紙（必要事項を記入し、申込前3箇月以内に撮影した顔写真を貼ること。）を簡易書留郵便（封筒表面に「地域おこし協力隊申込み」と朱書き）又はEメールで坂の上の雲まちづくりチームに提出してください。応募用紙は松山市ホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/bosyu/chiikiokoshi29.html>

8 勤務条件等

- (1) **勤務時間等** 原則として、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く平日の1日7時間45分（週38時間45分）です。
※行事、イベント等への従事など、土曜日、日曜日及び祝日の活動も想定されます。その場合は、週38時間45分内で調整します。
 - (2) **報酬等** 月額179,500円（平成29年11月1日現在）
※賞与、昇給、通勤手当、退職手当等の支給はありません。また、この月額から社会保険料等の本人負担分が控除されます。
 - (3) **任用期間** 任用期間は平成30年4月1日（予定）から平成31年3月31日までです。ただし、勤務成績が良好な場合は、最長平成32年3月31日まで勤務できます。
 - (4) **休暇等** 年次有給休暇（年10日）及び特別休暇制度（夏季休暇3日など）があります。
 - (5) **兼業等** 地域協力活動に支障のない範囲内で、任期終了後の定住・起業を見据えた兼業が可能です。
 - (6) **保険等** 社会保険（健康保険・厚生年金保険・雇用保険）に加入します。また、公務災害補償の適用があります。
 - (7) **その他** 任用期間中の住居は、松山市が用意します（無償貸与）。ただし、転居に伴う費用や生活用備品、光熱水費、通信費等は自己負担となります。また、活動に使用する車両とパソコンは、必要に応じて松山市が用意します。その他活動に要する経費（研修等参加のための旅費、消耗品費）は、予算の範囲内で松山市が負担します。
- （注）上記の勤務条件は改定されることがあります。

9 その他

- (1) この試験で提出された書類は、一切返却できません。また、提出された個人情報については、本事業の目的以外には使用しません。
- (2) 応募に係る費用は応募者の負担となります。ただし、第2次試験は、指定する松山市内の集合場所から面接終了後解散までに要する交通費、食費及び宿泊費は、松山市が負担します。
- (3) 試験の経過及び結果に関する問合せには応じられません。
- (4) 日常生活では自家用車が便利ですので、自家用車の持込をお勧めします。
- (5) 採用時期は平成30年4月を想定していますが、現在のお仕事その他の都合がある関係上、4月からの勤務が困難な場合は、別途相談に応じます。

10 問合せ先及び提出先

〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2

松山市総合政策部坂の上の雲まちづくりチーム 電話 089-948-6816

Eメール sakanoue@city.matsuyama.ehime.jp HP <http://www.city.matsuyama.ehime.jp>